

庁舎整備にかかる住民説明会

# 意見要旨

政策企画課

## ◆ 庁舎整備にかかる住民説明会意見要旨

日 時：平成23年10月3日（月） 午後7時30分～9時20分

場 所：小浜公会堂

参加者：32名（うち意見者：12名）

### ＜市の方針に対する賛成意見＞

- ・ほとんどの手続きは、支所で対応できており、一般の人には大した影響はない。庁舎整備より、道路の拡幅やバイパス整備を要望する。

### ＜市の方針に対する反対意見＞

- ・合併協定で大変揉めた項目であり、合併協議会を無視している。市民懇話会に出された資料は、誘導された資料ではないか。
- ・愛野は、交通の要衝であり、島原半島の西の玄関口である。（2名）
- ・愛野にターミナル的な多目的な庁舎を造ったらどうか。
- ・愛野町は市の中心地で、人口も増加しこれから発展していく町であり、合併協議会の協定を最大限尊重し再考願いたい。
- ・交通の利便性を考えたら愛野町が最も適している。公民館の位置ではなく、愛野町展望台の交差点当りが将来の雲仙市の発展のためにはいいのではないか。

### ＜その他意見等＞

- ・資料の数字の裏づけが必要であり、資金計画がないままに進めることは納得がいかない。行政の情報をもっとオープンにして議論しないと市民の声は聞かれない。合併し6年経過しているが、総合支所の職員の教育が遅れている。将来的な道州制とのからみもあり、今こじんまり建てて、将来広域化の中で庁舎建設を考える場が来るのではないかとこの考えがあるのではないか。
- ・情報が不足しており、地域審議会や市民懇話会で議論されるのに十分な資料でなかったとしたら、納得がいかない。
- ・公表する前にこのような市民に意見を聞く場を設けてほしかった。
- ・観物まち課は、観光の情報発信地である小浜にもってくるべきだ。小浜総合支所は来客が多く、総合支所の充実をお願いします。
- ・議会の3分の2の議決を持つていくためには、市民の意見をもっと聞き、サービス機能が低下しない具体策などを出して、市民に説明すべきである。

## ◆ 庁舎整備にかかる住民説明会意見要旨

日 時：平成23年10月4日（火） 午後7時30分～8時43分

場 所：北串小・中学校体育館

参加者：26名（うち意見者：6名）

### ＜市の方針に対する賛成意見＞

- ・具体的に今の現状と新庁舎を造った場合では、どのような財源が削減され、どのような財政状況になるのかを説明してもらえば判断材料になる。本庁舎は、どこに建てても影響ない。
- ・合併から5年が過ぎ、市も国も財政的にひじょうに窮屈になった。自治会長を務めていたが、本庁に行かなければならないということはなかった。支所を充実してくれたら、別に新庁舎を造らなくてもよい。

### ＜市の方針に対する反対意見＞

- ・合併協議会では、庁舎は愛野に置くという条件で、合併に同意された方もおり、庁舎は愛野でいった方がよい。吾妻庁舎は、増築して金がかかり、耐用年数がきたら、また建て替えをしなければならず、今愛野の方に庁舎を造る方が、あとあと金がかからない。
- ・合併協定では、住民サービスの基本である交通の利便性及び均等に開けていく場所であり、島原半島の入口である愛野町が一番適しているということで決定されている。
- ・吾妻庁舎に増築された場合、駐車場に増築することになり、駐車場が狭くなるのでは。

### ＜その他意見等＞

- ・庁舎に空きもあり、非常に無駄が多く民間企業に貸与してもよいのでは。新庁舎を建てた場合、どのように市民に負担がかかるのか。

## ◆ 庁舎整備にかかる住民説明会意見要旨

日 時：平成23年10月5日（水） 午後7時30分～9時20分

場 所：ハマユリックスホール

参加者：39名（うち意見者：10名）

### <市の方針に対する反対意見>

- ・庁舎を造るということは、合併条件として議会で承認しており、それを反故にすることは心苦しい。全ての人が愛野町に建設されることを期待している。自分で判断すべきことを何故、諮問機関に委ねたのか。自主財源は、9億円となるが、これくらいの財源もないのか。もっと職員に勉強させて、いろんな面から補助金を持ってきて、住民サービスができるよう指導してほしい。  
県から来た事務局長が、財政的に問題ないから絶対出来ると希望を持たせておいて、今度は出来ないということはどういうことか。
- ・将来的な人口推計も示されていない。調査をしたらおのずと建設場所は愛野に決まってくる。地域の端に住んでいる住民を納得させるような説明をしてほしい。
- ・財政面の厳しさばかりで、どこか企業を誘致する考えはないのか。愛野に建設できない最大の理由は、財政の他に何か問題があるのか。
- ・愛野町は、交通の要衝で市の真ん中であり、そこを避ける理由は何か。継ぎ足しなどの増築は、経費がかかり、新築の方が良かったということになる。単価とか面積とか出ているのではないか。吾妻にどのようなものを造ろうとしているのか。
- ・財政が厳しいといっているが、基金残高、地方債残高の実質負担など県下でも合併の優等生である。合併特例債の適用期間内に率先して取り組み、条例どおり愛野町での建設を再度検討してほしい。
- ・一回本庁を置けば、なかなか他の場所に動かしたくないという力が働く。7ヶ町数万人が総意で決めたことを市長は実行してほしい。
- ・懇話会の答申では本庁機能の集約や、交通の利便性の向上が謳われており、こういった交通面のことも考慮して、愛野に庁舎を造っていただきたい。
- ・市長は、合併協議会にタッチしておらず、協議会の難しさ、厳しさを知らない。

### <その他意見等>

- ・WGで出した数字が何故出せないのか知りたい。吾妻庁舎の数字が出てない状況で、よく決断できたなと思う。断腸の思いで基本理念を尊重しながらも説明されており、私どもはそれを一生懸命理解したい。しかしながら回答がない。

- ・財政が厳しい中に、方針が出されているが、規模や事業費はどれくらいか全く示されていない。もっと早く説明会をすべきであった。庁舎を建てるのであれば、30年40年を見通して投資をしてもらいたい。

## ◆ 庁舎整備にかかる住民説明会意見要旨

日 時：平成23年10月6日（木） 午後7時30分～9時

場 所：千々石総合支所3階大会議室

参加者：18名（うち意見者：6名）

### ＜市の方針に対する賛成意見＞

- ・新庁舎ができて、市の財政が破綻したら、本末転倒である。事務所を分散したら、それだけ諸経費がかかる。
- ・合併協の協定内容は尊重すべきであるが、5年行政運営をされて、人口減や財政のことを総合的に判断して市長は決断されている。市民懇話会の答申と同じ考えであり、その方向でいいと思う。
- ・行政サービスを低下させてはいけないと合併した。今まで、機構改革等で総合支所はかなり縮減されている。今以上に縮減されると総合支所として機能がなくなる。増築には反対しないが、総合支所の充実についてどう考えているか。

### ＜市の方針に対する反対意見＞

- ・庁舎は、長いスパンで考えて造るべきで、人口が増えていくであろう愛野町を中心に建設すべきだ。長い期間かけて償還し、どれだけ税がかかるかを説明していけば市民は納得する。
- ・南串から本庁に行くのは、非常に不便である。いろんなことがあった時、交通の便がいい状態をつくってほしい。千々石灘は地震の巣であり、両庁舎の耐震性は大丈夫か。
- ・吾妻の潟の地震に弱い所より、もっと愛野の方に地盤が硬い所がある。財政的に愛野に造らなかつたらどれくらい安く上がるか。市民の影響を具体的にどうゆうことを考えているか。

吾妻、千々石で足りないものを、愛野公民館の武道館あたりに造ってはどうか。災害に強いまちづくりとは、拠点を1ヶ所に集めずに分散化することであり、愛野町の活用も考えてほしい。

## ◆ 庁舎整備にかかる住民説明会意見要旨

日 時：平成23年10月7日（金） 午後7時30分～9時30分

場 所：愛野町公民館講堂

参加者：135名（うち意見者：10名）

### <市の方針に対する反対意見>

- ・40億の事業費の中で、12億の負担ということか。1年目から何故その建設費用を積み立ててこなかったのか。市長も職員も議員も責任とって辞め、選挙・住民投票により庁舎をどうするのか決めるべきだ。  
合併協議会で建てると決まっているのに、毎年1億円程度の積み立てというのは、理解できない。
- ・合併前の町長・議会・住民代表合わせて約5年近くかけて、やっと決まったことが、10人くらいの市民懇話会で変わるものかどうか。重くみてほしい。  
時津町はじめ合併していない町は、すでに18年度から交付税が減じられているにもかかわらず、赤字財政であるとは聞いていない。何故、雲仙市だけが困難であるのかわからない。
- ・建設場所は愛野町が適地であるが、財政見通しで厳しい状況である。諫早市の建設事例では、最低限で、耐震、災害に強い構造の庁舎を建てている。40億円をもう一度練り直してほしい。
- ・資料を見ても吾妻に増築しようとする理由は見つからない。雲仙で販売先が無くなっているヒノキや杉を活用し、地元の大工さんや職人さんを使って地元で金が落ちるような庁舎の造り方もあるのではないか。
- ・条例が生きている間は、支所を失くしたり、増築せず、お金を貯めてから新たに増築しても良いのではないか。愛野は島原半島の入口であり、人口も増えており、愛野を無視していくことは町民が納得しない。もう一度見直しを。
- ・40億は実質から離れすぎた数字である。重要議案の変更は、3分の2以上の議決が必要であるが、吾妻庁舎で足りるとしながら、倉庫などを改造している。  
愛野町公民館はそのまま、武道館を解き、125名ほどの収容する5階建ての庁舎が7億円ほどで建つ。分庁して本庁機能を持たせるという意味でも愛野町新庁舎を勧める。
- ・合併協で愛野に造るということで合併した。愛野町に市役所が来るということで、人が増えている。一番栄える町に市の庁舎を持ってこなければならない。  
この説明会が終わった時に、市長はどういうところで判断されるのか。説明会が終わっても突き通すつもりなのか。そうであれば、最初から造らなくてもよい。

- ・東北はプレハブで庁舎が建っている。予算をかけずに愛野に庁舎を建ててほしい。我々の子供はずっとこの雲仙市にいる。先のことを考えて一番いい場所を考えてほしい。

**<その他意見等>**

- ・この説明会の指針のことを聞きたかった。財政的には厳しい。愛野町を空にする計画で、経緯についてもこのような公の会議で聞きたかった。
- ・合併効果で、人件費などの経費はかなり落ちていると思われるが、財政的に厳しいということは、何に使われているのかよくわからない。



## ◆ 庁舎整備にかかる住民説明会意見要旨

日 時：平成23年10月11日（火） 午後7時30分～8時45分

場 所：吾妻町ふるさと会館 研修室1

参加者：63名（うち意見者：8名）

### <市の方針に対する賛成意見>

- ・吾妻庁舎に増築して本庁とする方針の選択は妥当であると理解している。吾妻町民全員支持していると思う。
- ・庁舎を移しても住民サービスは変わらない。財政的に厳しいからという市の方針はベストと思う。住民が申請とか手続きにおいて、本庁に行かなければ出来ないということはあるのか。支所で処理ができるのではないか。
- ・愛野に庁舎を造るということは、合併せざるをえない状況で政治決着をされた。しかし、これに拘束されることはない。現在、国も自治体も非常に厳しい状況が続いており、情勢に対応すべきであり市長判断に心から敬意を表する。
- ・雲仙市で最も土地が高いところに決めたわけであり、様々な妥協の中で、印鑑をつかれた。将来的な財政見通しは厳しく、我々の子孫に借金を残すわけにはいかない。合併特例債も借金である。
- ・現在の愛野町公民館を解体し、庁舎を建てるとなれば駐車場も必要で、相当な金額になる。
- ・合併するにあたり、関係の方々が取り決めたことは軽いものではないが、世の中の財政状況も変わっていく。その時代に即した新しい考え方、違う方向へ導くことは市のリーダーとして大変勇気がいるものだ。

### <市の方針に対する反対意見>

- ・諫早市では、一人当たり27㎡となっており、建設単価も23万7千円。雲仙市での建設単価は333,333円、40億円の前提で市民懇話会において進められているから財政的に厳しいという論理になる。現状に見合ったところで再考を。  
財政が厳しいのであれば、職員の人数を減らすのではなく、職員一人当たりの給与を減らしてもよいのではないか。  
愛野の説明会に行って疑問を持った。総務省の規定では、職員一人当たり4.5㎡が基準となっているが、新庁舎の規模決定では、職員一人当たり40㎡となっている。40㎡の中身について説明願いたい。

## ◆ 庁舎整備にかかる住民説明会意見要旨

日 時：平成23年10月12日（水） 午後7時30分～8時40分

場 所：瑞穂町公民館 集会室

参加者：22名（うち意見者：4名）

### <市の方針に対する賛成意見>

- ・合併当時は、市の財政状況とか積立貯金をしながら、その時点で判断して造る場合は、公民館の位置に造るとなっているが、財政状況が苦しければ造らないという話であったと理解している。  
財政も厳しく、今後、島原半島が一つにあるいは諫早との統合問題も出てくると思うので、今庁舎を造る必要はないと思う。
- ・このような市長との懇談会は、非常に大事なことであり、今後も開催してもらいたい。一般市民が本庁に行くことはほとんどない。財政状況も大変な時代が来るんだと感じ、辛抱するところは辛抱しなくてはいけないと感じた。
- ・今回の選択は、本当にいい選択であるところから敬意を表す。行政は、市民のためにあることを念頭においていただき、住民サービスを怠らないように願います。

### <市の方針に対する反対意見>

- ・愛野町公民館は築40年経過しており、建て替えを考えなければならない。  
住民サービスを削ってまで、庁舎を造る必要はないと思うが、財政的に余裕がある内に愛野に建てるべきである。講堂を含めなければそれほどかからないと思う。  
財政計画では、平成21、22年度ともそれぞれ1億円程度の歳入超過のような計画を立てられていたが、実際は、その差額は15億円と理解してよいか。（愛野）

## ◆ 庁舎整備にかかる住民説明会意見要旨

日 時：平成23年10月13日（木） 午後7時30分～8時30分

場 所：国見農村環境改善センター 大集会室

参加者：31名 （うち意見者：6名）

### <市の方針に対する賛成意見>

- ・早く決断して、ともかく愛野には造らないということを絶対守ってもらいたい。  
今の時代に庁舎を造ることは無駄であり、お互い辛抱してその他の産業の育成に合併特例債等を使っていただきたい。
- ・40億円交付税が削減される中、お金をかけて愛野に造る必要性はない。それよりも住民に対する福祉やサービスの向上に優先順位を向けるべきだ。議会の方も、住民の意向を踏まえた中で、議決していただきたい。  
南串山から吾妻に行く場合、交通の利便性を考慮すべきという話もあるが、本庁舎に申請や要望で出向くということはここ6年間で一度もなく、総合支所で十分足りる。総合支所の機能を充実して、十分対応できるというシステムを取っていただければ問題ない。
- ・合併協定書は、玉虫色である。財政が逼迫して20年先のまちの将来を考えると7町合併やむ無しとなった。将来、雲仙市が豊かになってゆとりができたなら、庁舎建設をするというのが基本的な考え方であり、財政にゆとりがなかったら庁舎建設はしないと、協定書の真実である。懇話会の答申、市長の施政方針も全く正しく、合併協定に基づいた方針である。  
一極だけ中心となり繁栄するような合併であってはいけない。住民サービスを真剣に考えるのならば、総合支所を充実させなければならない。

### <その他意見等>

- ・市民懇話会からの答申を受けて、本当に政治信念を持って貫くことができるか。議会の賛同ができなかった場合は、どうするのか。
- ・雲仙市の中で、どこが玄関かというと、半島全体で見ると、島原港、多比良港、一番大きいのが愛野である。この雲仙市としてのターミナル地点と庁舎の関係を別々に考えているのか。それとも一体化してやっていく考えなのか。  
国見は吾妻から近く、愛野よりは利便性が良い。経費節減は喜ばしいが、南串山、小浜は本庁からかなり遠い。本庁でなければ出来ない申請もあると思うが、この地域の方はどんな意見をお持ちか。  
愛野公民館を利用せず、民間が所有する土地を活用し、愛野の中心から離れたところ

に造るという試算はできないのか。

- ・市長は愛野町の公民館に市民センターなどを造りたいと考えているのではないか。愛野の公民館のことは庁舎問題と一緒に協議を進めると、愛野あるいは雲仙市全体に理解が進むのではないか。